

実績報告書

届出者	住所	大阪府三島郡島本町山崎2丁目1-7	氏名	ナルックス株式会社 代表取締役社長 北川清一郎
特定事業者の主たる業種		18プラスチック製品製造業（別掲を除く）		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		超精密加工金型の開発、およびナノ精度素子（プラスチック光学素子・ガラス光学素子・レンズユニット・光モジュール等）の開発・製造・販売を行っており、府内の事業所としては、大阪府三島郡島本町に本社および山崎工場、大阪府東淀川区に大阪工場がある。		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間
2019 年 4 月 1 日～ 2022 年 3 月 31 日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度(2018)年度	前年度(2019)年度
温室効果ガス総排出量	3,128 t-CO ₂	3,297 t-CO ₂
温室効果ガス総排出量（平準化補正後）	3,446 t-CO ₂	3,652 t-CO ₂
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO ₂

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2021 年度)	第1年度 (2019 年度)	第2年度 (2020 年度)	第3年度 (2021 年度)
選択	削減率（排出量ベース）	%	%	%	%
	レ 削減率（原単位ベース）	3.1 %	-3.0 %	%	%
削減率（平準化補正ベース）		3.0 %	-3.6 %	%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容（目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入）

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	（加工高）
（温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法）	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

意識的な取り組み： ①空調機の設定温度の規制 ②不要照明の消灯・間引き ③蒸着ラインの昼間同時稼働の回避によるピークシフト等への対応を実施した。

投資等による直接的な取り組み： ①社用車の入れ替えにおいてCO2排出の低減を狙い、電気自動車とクリーンディーゼル車、HV車の採用を推進 ②生産待機時の電力削減を狙い、生産設備の電源オフルール徹底を継続。

以上のような取り組みを行ってきたが、昨年度は大阪工場閉鎖に伴い、

蒸着ラインを山崎工場へ統合する為の評価試作が重なり、さらに成形工程でも先行試作案件が多かったことから電力使用量が増加し、全体的に売り上げも伸び悩んだことから、原単位の悪化につながった。

(2) 推進体制

環境マネジメントシステム（ISO14000）は認証取得済み。推進体制としては常務執行役員をエネルギー管理統括者とし、また、エネルギー管理企画推進者を山崎工場に配置し、全社EMR会議（概ね月1回開催）にて改善状況の報告並びに改善活動方針の協議を実施している。

夏季・冬季（特に8月・12月・1月）の稼働日数を減らす事で電気需要の平準化を進めている。